

# 障害のある子どもの知性が 湧きあがる授業づくり

「主体的・対話的・深い」学びをヒネッてみる

10月20日(土)

13:00~17:00

(12:30 受付開始)

神戸大学大学院 人間発達環境学研究科  
B108教室 (鶴甲第2キャンパス: 神戸市灘区鶴甲3-11)

私たちは、障害のある子どもの知性を軽んじていないでしょうか。知性を軽んじて、スキルばかり教えこんでいないでしょうか。本シンポジウムでは、彼らのもつ知性を信じ、彼らの知性が湧きあがってくるような授業づくりについて、長く小学校・特別支援学級の担任を勤めた村上公也氏に、その場で即興授業を行っていただいたうえで、ご講演いただきます。

同時に、村上氏の授業づくりが、「主体的・対話的・深い」学びとふか〜く微妙につながることを、授業研究の第一線にいる京都大学准教授、石井英真氏からコメントいただきます。

## ●即興授業+講演● 村上公也 (キミヤーズ塾)

### 教材の創造と授業の間合い

今までのように世界の多文化を理解し、認めるだけじゃなく、定型とは神経構造が違ったり、違う発達をしてきた者の多様な見方、多様な感じ方、多様なインテリジェンスを考える時期にきているのではないか。

私は、新しい教材によって自閉症のインテリジェンスを引き出し、価値付け、それを授業によって表現します。



## ●解説●石井英真 (京都大学 准教授)

### 真正(ほんもの)の学びをどう創るか

新学習指導要領の背景にある授業づくりの方向性、「真正の学び」をめざすとはどういうことなのでしょう。子どもが教材を入口にほんものの文化と出会い、それをみんなで楽しく学び深めることで、子どもたちの生活がさらに知的で文化的で豊かになっていく。改革の根っこを掘り下げることで、そんな授業づくりの不易を確認したいと思います。

←ウチ文字

参加費無料

申込不要

### お問い合わせ

神戸大学大学院  
人間発達環境学研究科  
赤木和重 研究室

akagi@pearl.kobe-u.ac.jp

